

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	スポーツ科学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	演習
科 目 名	卒業研究(ゼミ) I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30(1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	後期	教室名	401
担 当 教 員	織田 修輔	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
研究論文の意味や作成方法を理解し、論文作成および発表を行う。また、グループワークを通じて実験計画を立案し自己発言力・協調性を理解することができる。						
《成績評価の方法と基準》						
出席点(20%)・平常点(10%)・試験(70%)から授業の理解度を総合で示す。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
サイニー、グーグルスカラーなど						
《授業外における学習方法》						
毎回の授業にて行った内容の復習を行うこと。						
《履修に当たっての留意点》						
グループワークを中心に展開。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	研究の意義について理解することができる。	配布資料	論文検索	
		各コマにおける授業予定	ガイダンス			
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	BS法・KJ法について理解することができる。	配布資料	論文検索	
		各コマにおける授業予定	研究グループ作成			
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	実験方法の作成方法について理解することができる。	グループ作成資料	論文検索	
		各コマにおける授業予定	実験方法作成			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	実験方法の作成方法について理解することができる。	グループ作成資料	論文検索	
		各コマにおける授業予定	実験方法作成			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	実験方法に基づき検証の意義について理解することができる	グループ作成資料	論文検索 PP作成	
		各コマにおける授業予定	Pre実験			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	実験方法に基づき検証の意義について理解することができる	グループ作成資料	論文検索 PP作成
		各コマにおける授業予定	Pre実験		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	実験方法に基づき検証の意義について理解することができる	グループ作成資料	論文検索 PP作成
		各コマにおける授業予定	Pre実験		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	実験方法に基づき検証の意義について理解することができる	グループ作成資料	論文検索 PP作成
		各コマにおける授業予定	Pre実験		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	各グループの実験内容を共有し理解することができる	グループ作成資料	論文検索 PP作成
		各コマにおける授業予定	中間発表		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	結果のまとめ方やグラフの作成方法を理解することができる	グループ作成資料	論文検索
		各コマにおける授業予定	結果まとめ		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	結果のまとめ方やグラフの作成方法を理解することができる	グループ作成資料	論文検索
		各コマにおける授業予定	結果まとめ		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	PPを作成し自身の意見をまとめることについて理解することができる。	グループ作成資料	論文検索 PP作成
		各コマにおける授業予定	発表資料作成		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	各グループの実験内容を共有し理解することができる	グループ作成資料	論文検索 PP作成
		各コマにおける授業予定	発表		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	Pre実験に基づき身体の機能について理解することができる。	グループ作成資料	論文検索
		各コマにおける授業予定	本実験計画		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	Pre実験に基づき身体の機能について理解することができる。	グループ作成資料	論文検索
		各コマにおける授業予定	本実験計画		